

内海周辺観光ポイントご紹介



A 野間大坊 源義朝公の最期の地
源義朝の墓をはじめ広大な境内には本堂をはじめ県の文化財である客殿や国の重要文化財に指定された梵鐘などがあります。(TEL.0569-87-0050)

B 野間灯台
高さ18メートルの灯台。伊勢湾航路の守り神として、また知多半島のシンボルとして親しまれています。建造は大正10年。光度15000カンデラです。

C 和訳聖書発祥の碑
1832年 三重県の鳥羽から江戸へ向かう途中遭難してアメリカワシントン州へ漂着した小野浦の千石船「宝順丸」の乗組員、音吉・久吉・若吉の3名が、ドイツ人宣教師と協力して世界初の和訳聖書を完成させたという顕彰碑が建立されています。

D 内海 砲台跡
つぶて浦の北斜面、標高約30mの地点に、尾張藩が嘉永3年(1850)に異国船を海防する為に指示したもので、35m×25mの跡が残っています。

E 大慈山 岩屋寺
通称は岩屋寺、尾張高野山総本山岩屋寺として独立本山で、知多四国43番札所です。弘法大師諸国行脚のあり、奥の院にて、百日間の護摩修行を行ったとされています。国指定文化財の「大蔵経(一切経)」「金剛法具類」などがあります。(TEL.0569-62-0387)

F 荒磯 万葉歌碑
県内にそれほどの数多くない万葉集が、この南知多町に3首もあることは、古代の時代からこの地が栄え、都との交易が盛んであったとかがえるものです。この「須佐の入り江」を歌った万葉歌碑が、豊浜小学校と入り江の2ヶ所にあります。

G 大井 烽火(のろし)台跡
大井小海田の標高50mほどの丘陵に遺構が残っていて、県内でも唯一といわれています。厚さ50cm・高さ95cmの壁が残っていて異国船防衛対策として緊急な通信手段として設けられ、「師崎遠見番所」から名古屋城への通信手段に烽火で知らせる為のものでした。

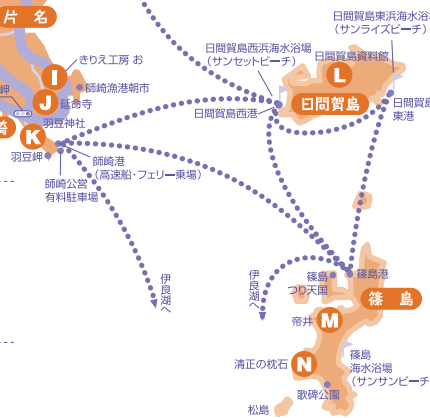
H 弘法大師上陸像
弘仁5年(814)弘法大師が41歳の時、三河の国からここに上陸されたといわれています。かつてはこの岬には僧侶の形をした大岩が立ちておりましたが、今から250年程前の江戸時代の頃壊れてしまったといわれています。この上陸大師は、弘法大使1150年の御遠忌(ごおんき)を記念して建てられました。知多四国88ヶ所巡りで、年間5万人の参拝者があります。

I きりえ工房「お」
日本きりえ協会会員で師崎に生まれ、地元師崎の海や漁港をテーマに、海辺の生活が感じられる作品を中心に創作活動をしています。旧旅館を利用した工房は漁師町の細い路地にあり、体験も可能です。(TEL.0569-63-1016 不定休)

J 延命寺
大阪夏の陣の際、豊臣方の御座船「大阪丸」にあった品で祇園祭を描いた「洛中洛外図屏風」が保管されています。またこの船はのっていた美姫が、身元不明のまま横裂で自害されたため、この寺では姫塚や石室にて供養をしています。明治の人気作家小栗風葉が明治40年代に滞在して執筆していたことでも知られています。(TEL.0569-63-0439)

K 羽豆神社の「社叢」
知多半島南端にある羽豆岬一帯が、国の天然記念物とされており、羽豆神社の社叢です。伊勢湾台風で大きな被害を受け、現在ではウバメガシを中心にイブキトベラ・モチノキなどが共生する暖地性常緑樹林となっています。

L 日間賀島資料館(9:00~17:00)
この島の人々の歴史と生活が一覧できる資料館です。古墳時代後期のサメを獲る釣り針をはじめ、古代の出土品の数々、また日間賀島での漁具・漁船の変遷や、珍しいサメ漁の漁具など見ごたえがあります。(TEL.0569-68-2388 水曜休館)



M 帝井
南朝の後醍醐天皇の皇子、義良(のりなが)親王が島に漂着された時、この場所に飲料水として井戸を掘りました。今でも南北朝時代そのままの井戸の形を留めていて、後村上天皇(義良親王)がお祀りしてあります。

N 清正の枕石
加藤清正が名古屋城築城のあり、島の石を切り出しましたが、一つ大石を船に積み移すことができずに残りました。その大石には当時のノミの跡が残っています。この巨石は長さ5.2m、幅2m、厚み1.8m、今もそのまま岸に置かれていて「清正の枕石」と呼ばれています。

内海とは・・・

今は、海水浴はもとより温泉とグルメでオールシーズンの観光地です。かつては、19世紀初めに廻船業で栄え、しだいにその力を観光業に注ぎこまれました。現在も内海船の船主たちの栄華の痕跡や昔ながらの景観を楽しむことができる町です。

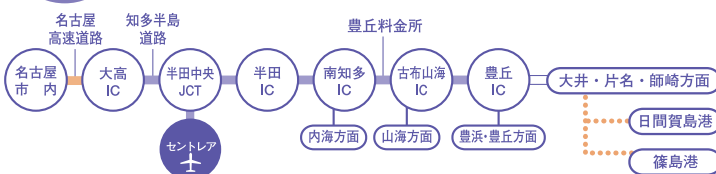


お問い合わせ先

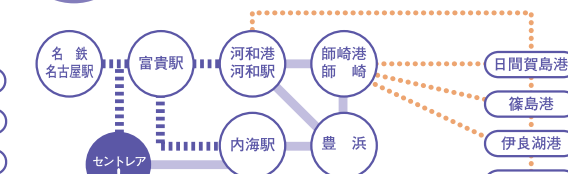
南知多町観光案内所
愛知県南知多町大字内海字先苺31-2
TEL.0569-62-3100
FAX.0569-62-3520
E-mail ▶ mannai@tac-net.ne.jp
営業時間 ▶ 10:00~16:00【月曜定休日】

南知多アクセスガイド

お車をご利用の場合
名古屋から南へ60km車で約1時間



公共交通機関をご利用の場合
名鉄知多新線または名鉄河和線をご利用下さい



名古屋高速道路 知多半島道路 一般道路 電車 バス 船

内海界隈の古き良き名所旧跡をめぐる

内海タイムトラベルマップ

